



ご当地 **よ坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.574

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

February
2017
平成29年

2





Contents

デンタルアイ	1
村居 幸夫	
会務	3
理事会報告	4
会務日誌	5
医療管理委員会だより	9
センターだより	15
新年会だより	22
地区歯科医師会だより	32
薄井 克巳	
ピンクのエプロン	34
佐竹 幸栄	
リレー通信	35
鈴木 哲之	
国保組合 NEWS	37
赤えんぴつ	38

表紙写真について

ダブルダイヤモンド富士

富士本栖湖リゾートの竜神池のダブルダイヤモンド富士。2015年3月の米CNNによる「日本の最も美しい場所31選」に、この「富士芝桜まつり」が選ばれています。茨城県では、国営ひたち海浜公園のネモフィラが選ばれています。

(社) 茨城西南歯科医師会 小野 道範

医事紛争の傾向と対応について



常務理事
村 居 幸 夫

医事紛争の傾向が変わりつつあるようです。今までは自費診療への期待が高く、その期待値に達していない場合や何かしらの不具合があったときに問題になることが多かったが、近年は通常の保険診療における根管治療の成否、粘膜・皮膚の損傷、バー・補綴物の誤飲や誤嚥、補綴物の不適合など私たち歯科医師の日常診療でいつでも起こり得るアクシデントが原因で大きな問題へと発展してしまうことが多くなったように感じている。勿論、アクシデント防止のための方策が十分とられていなければ結果責任を責められるのは周知の事実だが、人間が行う限り、アクシデントを“ゼロ”にするのは至難の業というより不可能であろう。このような場合、術者と患者との強い信頼関係があり且つ直後の対応で陳謝し、適切な後処置を行えば問題が大きくなることはまず無い。またアクシデントには前兆となるインシデントが見られることが多く、日頃からインシデントに注意していればある程度の防止効果を上げることも不可能ではない。以前にも強調したが患者さんとの信頼関係を深める事は最も大切な事であり、信頼を得るためには治療計画・内容を丁寧に説明し、理解と了解を得るだけでなく、治療の初期から終了までの間、患者さんの理解度に合わせて何

度も説明・理解・了解を確認しつつ治療することに尽きるだろう。治療同意書に署名・捺印されていても患者さんが完全に理解し、了解しているかは分かりません。長期にわたる治療では特にそのことに注意する必要があります。

最近のニュースで多くの先生方もご存じでしょうが、岐阜県での歯科医師の事件は『必要以上に歯を抜かれた』という理由(?)で大きな事件へと発展してしまいました。メディアの報道でも日常生活での些細な揉め事から大きな事件へ発展するニュースを耳にします。個人開業医が大部分を占める歯科業界では私たち自身が自分を含め、家族、スタッフを護るために細心の注意を払って診療に従事することが求められています。何か問題が起きた時に自分自身ですべて解決しようとすると思わぬ事態に陥る可能性もあります。患者さんが不満を訴えてきたときは多くの場合、心の中の不満が相当大きくなっていると考えたほうが良いでしょう。医療スタッフからの視点と患者さん側からの視点が違うことも自覚しておいてください。自分で対応する場合には1対1ではなく、必ず複数で対応し、話し合いの場所も周囲の危険物の有無や、外部への連絡が出来るかなどを確認し、時間も30分以内にするなど、双方で決まり事を

しておくことも必要です。いずれにせよ個人対応には限界があることを心に留めて、歯科医師会、弁護士に頼ることを一考して下さい。

最後に、ここまで読んで下さった先生に質問です。肝炎対策委員の医科の先生から『歯科ではインプラントの施術前に血液検査をしな

いのですか?』と聞かれました。一般論として歯科で血液検査を患者さんに申し出ても、拒否されるでしょうと答えましたが、実際のところどうなのでしょう?個人的にはインプラントだけでなく、抜歯などの術前にも行う必要があるのではと思うのですが・・・?



株式会社

岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット

SIGNO
NEXT

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。

■ 契約名称 伊賀市オリジナルユニット
■ 販売先名 伊賀市オリジナルユニット
■ 価格(税別) 1,200,000円(税込) 1,224,000円(税込)
■ 販売権取得期間 2017.4.1~2018.3.31
■ 販売権取得費 100,000円(税込)

製造販売・製造

株式会社モリタ東京製作所

本社〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-5561-1111 大阪本社 大阪府大阪市東淀川区3-33-18 TEL:06-6380-2525
伊賀工場 埼玉県北足立郡伊賀町小室7129 TEL:048-723-2021 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL:03-3834-6161

発売

株式会社モリタ



Iwase Dental Supply Inc. 100-0001

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

会務

新年会開催

1月19日（木）午後4時から、水戸プラザホテルにおいて、恒例の茨歯会新年会が橋本昌知事はじめ国会議員、関係団体などから約100名の方々のご出席を得て盛大に開催された。



国歌斉唱のあと、挨拶に立った森永会長は「茨城県歯科医師会では、平成24年3月11日に茨城県との防災協定を結びました。

ただこれだけでは難しいでしょう、やはり地域との防災協定を結びたいということで、24年度から44市町村との防災協定を結ぼうと進めさせて頂いております。現在44市町村の中の43市町村との協定が結ぶことができました。残念ながら1市町村あるのですけれど、3月中には協定を結び44市町村全体の防災協定を結びたい。これは防災ばかりではなく、今、問題になっている地域包括ケア、それから在宅の問題、これを含めて一緒に顔の見える立場に行かなければならないというのが私の考えです。これは我々の団体だけでは無理だと思います。医療界全体の協力、特に四師会の協定というものを結ばさせていただいて、四師会の連合という形で色々な面で今、活動しているところで。」と述べた。

祝辞では、橋本知事が、「歯の果たす役割というものが極めて大きいものがあるのではなかろうかと思っております。長く入院して、点滴に変わると、口からものが摂れなくなって点滴に変わる

と急激に容体が変わると言われている。そういったことをみても、自分の歯をしっかりと持ち続けるということは極めて大切ではなかろう

かと思っております。8020、4割まで来ました。こちらは順調に進んでおりますけど、6424の方はまだ6割でございまして、7割の目標ですが、もう少し頑張らないと大変なのかなと思っております。」と、続いて、石井みどり参議院議員、丹羽ゆうや衆議院議員、岡田広参議院議員、上月良祐参議院議員が祝辞を述べ、山脇英範県医師会常任理事の乾杯の発声により祝宴となった。

アトラクションではギタリストである金森清次様の演奏があり、晴れやかな新春の祝いをより一層盛り上げた。



理事会報告



第10回理事会

日 時 平成29年1月19日（木）午後2時

場 所 水戸プラザホテル

1. 報 告

- (1) 一般会務報告
- (3) 認知症フォーラム in 水戸 後援のお願い
- (4) 県要保護児童対策地域協議会保健・医療部
会報告
- (5) 都道府県別・各施設基準の届出状況
- (6) 1月開業予定の歯科医院について
- (7) 疾病共済金の支払いについて
水戸地区 1名 120日
東西茨城地区 1名 34日
- (8) 第25回歯科医学会企画書について
- (9) テロ対策茨城パートナーシップ推進会議設
立総会の開催について
- (10) 第3回JMAT茨城研修会プログラムについ
て
- (11) 保育士人材センターポスターについて
- (12) 肝炎ウイルス検査についてのアンケート調
査について

(13) 各委員会報告について

医療管理委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 在宅医療介護連携推進事業後援依頼につい
て（桜川市）
標記後援依頼について承認した。
- (2) 日本有病者歯科医療学会と都道府県歯科医
師会等との共催による「有病者歯科医療実践
のためのスキルアップセミナー」について
標記セミナーを開催することについて承認
した。
- (3) 後援名義の使用にかかる申請書について
（筑波大学附属病院）
標記後援名義の申請について承認した。
- (4) 平成29年新年会について
各役員の役割を確認した。
- (5) その他
茨城県歯科医学会における、女性歯科医会
の総会・講演会への補助金申請について
標記補助金申請について承認した。

会務日誌

- 1月19日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。要介護者の口腔ケアガイドブック作成について協議を行った。
出席者 黒澤副会長ほか5名
- 1月19日 第10回理事会を水戸プラザホテルにて開催。在宅医療介護連携推進事業後援依頼（桜川市）、日本有病者歯科医療学会と都道府県歯科医師会等との共催による「有病者歯科医療実践のためのスキルアップセミナー」、後援名義の使用にかかる申請書（筑波大学附属病院）、平成29年新年会について協議を行った。
出席者 森永会長
- 1月19日 第9回広報委員会を開催し、会報1月号校正、会報2月号編集について協議を行った。
出席者 小林広報委員長ほか3名
- 1月19日 平成29年新年会を水戸プラザホテルにて開催。橋本県知事を始め、衆・参議院議員も招いての開催となり、来賓、会員など併せて89名が新年を祝った。
- 1月19日 第2回選挙管理委員会を開催。会長予備選挙公示案内、会長予備選挙公示、会長予備選挙実施要領、会長予備選挙立会演説会について協議を行った。
出席者 堀江選挙管理委員長ほか8名
- 1月21日 日立歯科医師会の創立90周年記念式典並びに祝賀会がホテル天地閣にて開催された。
出席者 森永会長
- 1月22日 県歯科衛生士会の新年会が水戸三の丸ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 1月23日 県医師会警察医部会法医学研修講演会が県医師会にて開催。東京医科大学 基礎社会医学系 社会医学主任教授の吉田謙一先生が「医療と法医学のはざままで」について講演された。
出席者 森永会長ほか5名
- 1月25日 都道府県地域保健・産業保健・介護保険理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、地域保健対策の進め方ほかについて協議を行った。
出席者 渡辺常務ほか1名
- 1月26日 茨城県学校保健・学校安全研究大会が県民文化センターにて開催される。よい歯の学校などの学校保健・学校安全関係表彰の後、実践発表、その後に「学校における交通安全教育について」～自転車を中心として～について講演が行われた。なお、席上、浅香康仁氏（ひたちなか市）ほか13名が県学校保健会長表彰を受けられた。
出席者 森永会長
- 1月26日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 4
- 1月26日 第9回地域保健委員会を開催。噛むかむレシピコンテスト、フッ化物応用、歯科医学会に

ついて協議を行った。

出席者 渡辺地域保健部長ほか8名

- 1月26日 「噛むかむレシピコンテスト審査会」を開催。歯や口の健康のためによく噛むメニューの応募レシピ（724作品：小学生以下の部286、中学生・高校生の部245、一般の部193）から審査により、噛むかむレシピ賞12作品を決定した。

出席者 中川学園調理技術専門料理教室代表ほか7名 森永会長ほか11名

- 1月26日 第3回茨城スポーツ・健康づくり歯学協議会委員会を開催。いばらきスポーツデンティスト養成講習会、茨城県体育協会への申請準備、平成29年いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会総会開催、平成30年日本スポーツ・健康づくり歯学協議会の開催について協議を行った。

出席者 荻野茨城SHP委員長ほか10名

- 1月29日 全国共通がん医科歯科連携講習会を開催。がん医療に携わる人材育成事業、周術前・周術期、在宅を含めた緩和ケアに携わる歯科医師の人材育成を目的に、DVDによる講習会の後、連携登録用紙の記入・修了証交付を行った。

受講者 26名

- 1月29日 第4回学術委員会を開催。がん医科歯科連携講習会、第25回歯科医学会、日本有病者歯科医療学会「有病者歯科医療実践のためのスキルアップセミナー」、茨歯会健康フォーラム「口からはじまる健康長寿」、来年度シンポジウムについて協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか10名

- 1月31日 いばらき食育推進大会が県民文化センターにて開催され、表彰の後、パネルディスカッション、展示・販売、特別講演が行われた。

出席者 藤田

- 2月 1日 第12回社会保険正副委員長会議を開催。第11回委員会、指導、疑義、Q&A、理事会、審査内容、合同協議会について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか2名

- 2月 1日 第11回社会保険委員会を開催。疑義、合同協議会について協議を行った。

出席者 榊社会保険部長ほか17名

- 2月 1日 第4回四師会災害等連携協定ワーキンググループ会議が県医師会にて開催され、第3回JMAT茨城研修会について協議を行った。

出席者 小鹿副会長ほか3名

- 2月 2日 健康いばらき推進協議会が県立健康プラザにて開催され、第2次健康いばらき21プラン進捗状況ほかについて協議が行われた。

出席者 森永会長

- 2月 2日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。要介護者の口腔ケアガイドブック作成について協議を行った。

出席者 黒澤副会長ほか5名

- 2月 3日 テロ対策茨城パートナーシップ推進会議設立総会が県警本部にて開催され、テロ対策茨城

パートナーシップ推進会議規約について協議が行われた。

出席者 村居常務

- 2月 4日 第2回医療管理委員会を水戸市内にて開催。歯科衛生士復職支援講習会、スタッフセミナーの打ち合わせ、保育士・幼稚園教諭の復職支援と資格取得支援について協議した。

出席者 大字医療管理部長ほか10名

- 2月 4日 日本補綴歯科学会東関東支部第2回理事会が千葉市内にて開催された。

出席者 岡崎理事

- 2月 4日 第2回介護保険委員会を古河市内にて開催し、次年度事業計画、歯科医学会役割分担について協議を行った。

出席者 小野寺介護保険部長ほか9名

- 2月 5日 介護保険講習会を古河福祉の森会館にて開催。「いつまでも元気で、美味しく食べて健康長寿」をテーマに広島大学歯学部 非常勤講師の牛山京子先生、茨城西南医療センター病院看護主幹実習指導者の吉岡恵里子先生がそれぞれ講演された。

受講者 144名

- 2月 5日 スタッフセミナーを那珂市にて開催。「接遇マナー・意識向上」について元日本航空客室乗員訓練部教官・政府専用機初代担任教官 小原孝子先生が講義された。

受講者 28名

- 2月 5日 日本大学松戸歯学部同窓会創立40周年記念式典が東京ドームホテルにて開催された。

出席者 征矢専務

- 2月 5日 障害児・者歯科講習会を霞ヶ浦医療センターにて開催。「発達的な偏りを持つ子どもの伸びやかな育ちを支えるために」～それぞれのライフステージでの大人の関わりのポイントを考える～と題して新渡戸文化短期大学准教授の藤川志つ子先生が講演された。

出席者 58名

- 2月 8日 茨城政経懇話会2月例会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。

出席者 森永会長

- 2月 8日 日歯の主催による「がん診療医科歯科連携推進協議会」が日歯会館にて開催され、がん診療医科歯科連携事業における歯科医師・医科関係者へのさらなる周知・普及を目的とした意見交換等が行われた。

出席者 岡崎理事、小島県立中央病院副院長

- 2月 9日 第2回講師会を開催し、卒業判定及び単位認定、成績優秀者・皆勤出席者及び特待生の選考、次年度行事日程等について協議を行った

出席者 綱川教頭ほか13名

- 2月 9日 第2回学校運営委員会を開催。次年度備品購入計画、入学試験、オープンキャンパス、体験入学日程等について協議を行った。

出席者 森永学校運営委員長ほか11名

- 2月 9日 第2回センター運営委員会を開催。平成29年度事業計画（案）について協議を行った。

出席者 森永会長ほか10名

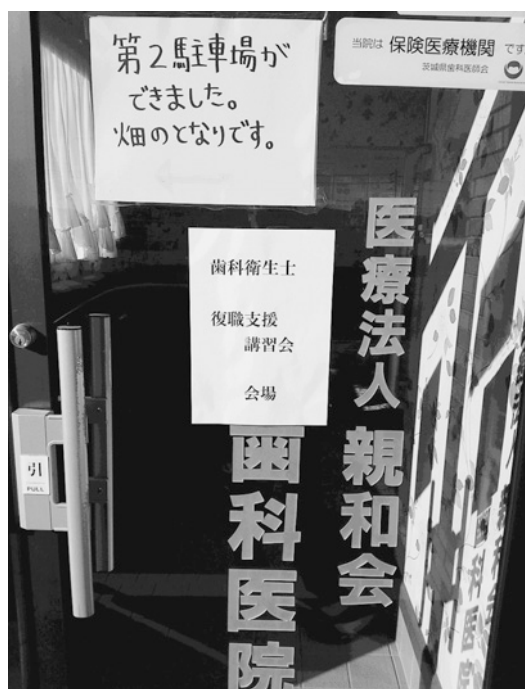
- 2月10日 労働保険事務組合事務担当者会議が開催され、労働保険加入促進業務ほかについて協議が行われた。
出席者 須能
- 2月10日 県栄養士会の新春懇談会がホテルザウエストヒルズ水戸にて開催された。
出席者 森永会長
- 2月13日 県医療審議会が県医師会にて開催される。医療審議会では保健医療計画の進捗状況ほかについて、保健医療計画部会では地域医療支援病院の業務に関する実績等について、医療法人部会では医療法人の設立認可ほかについてそれぞれ協議が行われた。
出席者 森永会長
- 2月14日 県民健康づくり表彰式が県庁舎9階講堂にて開催された。
出席者 森永会長
- 2月15日 保険医療機関を対象とした個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 5
- 2月15日 日学歯加盟団体長会が日歯会館にて開催され、平成29年度事業計画案の大綱、収入支出予算案の大綱について協議が行われた。
出席者 千葉日学歯代表会員

医療+管理委員会 だより

歯科衛生士復職支援講習会地区開催 in 境

医療管理委員会 初見 謙介

平成28年12月15日（木）、猿島郡境町の親和歯科医院で第2回の地区開催となる「歯科衛生士復職支援講習会 in 境」を開催しました。



講習会は先月牛久地区で第1回を開催したばかりでしたので、その手順を参考に前日準備からスムーズに行うことができました。講習内容は、これまで水戸の専門学校で行っていた内容をそのまま再現するような手法をとり、講師には専門学校の菱沼衛生士主任を迎え、ビデオ教材、講習資料、アーカンサスストーンやストーンオイルなど器材も専門学校からお借りして揃えるような形で行いました。

菱沼衛生士主任は、水戸での復職支援講習会の講師を何度も引き受けてくださっている経験豊富

な先生です。また前回の講習での所感で、「個人の歯科医院ということで初めての診療室、初めてのユニットを使つての実習は予想以上に戸惑うことが多く、講習会をスムーズに進行するには、院内の設備や備品に精通しているアシスタントが1人は必要である」との報告を受けておりましたので当日はどうなることか不安でしたが、歯科衛生士である親和歯科医院の院長婦人にお手伝いいただいて非常に円滑に行うことができました。

講習会当日は、茨城西南歯科医師会の医療管理厚生委員長の渡辺潔先生が様子を見に来てくださったのと、会場を提供してくださった親和歯科医院院長で同地区の医療管理厚生副委員長である鈴木哲之先生がご夫婦で参加協力してくれました。そのような中、ご挨拶、自己紹介を経て早速実習を行いました。





最初はビデオを見ながらシャープニング、超音波スケーリング、キュレッタージの基礎について30分ほど学び、その後、超音波スケーリングとキュレッタージの相互実習を行いました。すべてベーステクニックではありますが、衛生士学校の先生に、正しいことをハンズオンで教えていただくのはとても新鮮だったようで、皆さん真剣に学ばれていました。

午前11時30分、会員の皆様からお寄せいただいた求人のHPを見ながら、復職についてディスカッションを行いました。

今回の復職支援講習会は古河市、境町から3名の参加者がありました。お茶を飲みながらリラックスした話し合いの中で、注目したのはひとりの



20歳代の受講生の言葉でした。その方は子どもが今5歳で幼稚園に通っているので、午後4時からいまでの時間限定で復職したいと考えているようでした。子供が少し大きくなって時間的に少し余裕ができたので、その時間だけでも働きたいと考えている歯科衛生士はかなり多いのではないのでしょうか。その方には今は歯科衛生士が不足していて歯科医師側もそれを十分理解しているし、新卒の常勤だけが求められているわけではないこと、歯科医院側では国家資格を持つ衛生士と歯科助手は仕事上の峻別意識が高まっていること、パートでも必要とされる十分な労働の場があるということを求人情報を見せながら説明いたしました。話しているうちに表情も明るくなり、自宅に近い歯科医院に面接に行ってみたいと言うことで手続きをして午後0時20分講習会を終わりました。

私達歯科医師は、これからも歯科衛生士さんが必要とされているということをもっともっと世の中に広めていくと共に、パートの衛生士さんが安心して働ける職場を作り、共存していく必要があることを再確認した講習会となりました。

アンケート結果は以下のとおり

Q1. この講習会の事を何で知りましたか？

- | | |
|------------------|---|
| A1. 歯科医院の広告 | 1 |
| A2. ホームページ | 0 |
| A3. 友人・知人の紹介 | 2 |
| A4. 真珠会お知らせ | 0 |
| A5. 衛生士会お知らせ | 0 |
| A6. 茨城新聞 | 0 |
| A7. その他（Drからの紹介） | 1 |

Q2. 講義の内容はどうか？

- | | |
|-----------|---|
| A1. 丁度よい | 3 |
| A2. 物足りない | 0 |

Q3. 実習内容はどうか？

- | | |
|-----------|---|
| A1. 丁度よい | 2 |
| A2. 物足りない | 1 |

受講したい実習内容 印象
(アルジネート)

Q4. 復職にあたって気になることは？

(複数回答可)

A1. 給与・待遇 1

A2. 勤務時間 3

A3. 職場の人間関係 2

Q5. 御友達に復職を考えている衛生士さんはいますか？

A1. いる 1

A2. いない 2

Q6. 復職の時期は

A1. 3か月以内 0

A2. 1年以内 1

A3. 1年以上 0

A4. 条件が合えばいつでも 1

Q7. ご意見・ご希望があれば何でもお書き下さい



平成28年度第2回スタッフセミナー報告

医療管理委員会 印南 亮一

平成29年2月5日（日）、那珂市総合センターらぼーるにて28名のスタッフ及び2名の院長先生に参加していただき、本年度2回目のスタッフセミナーが開催されました。



開催に先立ち森永会長よりご挨拶をいただいた後、医療管理委員会大字部長からは「歯科医院にとって最高のおもてなしとはどういうものなのかを学んで下さい」と、このセミナーの趣旨が説明されました。

今回の講師には小原孝子先生をお招きし、その他3人のアシスタントの先生がお手伝いをして下さいました。

小原先生は、日本航空客室乗務員として約20年間勤務され、その後は客室乗務員訓練部教官、政府専用機初代担任教官などの管理職を歴任されま

した。

そして現在は、日本マナーOJTインストラクター協会認定講師として多方面でご活躍されています。

午前10時から午後3時まで行われた講義内容は以下の通りです。



1. はじめに～医療従事者に必要な接客とは

- *一般的なサービス業との接客の違いは、そもそも患者は具合が悪い、痛い等の「負の感情」を持って来院することである。
- *歯科スタッフの接客では、「負の感情」を持った患者と十分コミュニケーションをとる（相手の言い分を良く聞いてあげる）事が大切である。
- *患者に満足してもらい「ありがとう」と言われるには、1人で働いているのではなく全員で働くという気持ちを持つことである。
- *マナーとは「思いやりの心」である。
- *子供は本能で笑うが、大人は笑うからお互いが楽しくなる、作り笑顔（セルフプロデュース）は必要である。

2. マナー5原則

- *表情、挨拶、身だしなみ、話し方、仕草・態度
- *笑顔の目的は、相手に親近感を与えるためである。
- *笑顔を条件反射にしてほしい。
- *気持ちを穏やかに保つ心、穏やかな気持ちを表すための目、笑顔の口元が安心感を与える。
- *スマイルトレーニング（笑顔の作り方の練習）

3. 美しい姿勢、お辞儀

- *美しい姿勢の練習
- *お辞儀は挨拶の持つ「心を開く・心に迫る」という意味を忘れずに丁寧に行う必要がある。
- *スマートなお辞儀のポイント
- *お辞儀の種類（目礼、会釈、敬礼、最敬礼）
- *「パーソナルスペース」とは、知らない人、親しくない人に入って欲しくないスペースである。一般的には横20cm、ななめ45cm、正面90cmと言われている。
- *歯科医院では「パーソナルスペース」に入らざるを得ないため、安全・安心を伝える「温かい」対応が必要である。

4. 第一印象

- *見た目等の瞬間印象（0.6秒～6秒）が大切である。
- *身だしなみチェックの3つのポイントは、1）清潔・清潔感 2）機能性 3）周囲との調和 である。
- *相手に共感性を与えること。
- *相手にどう見えているか（第三者満足）を考える。
- *我流なおしゃれをする事は自己満足である。

5. 感じのよい話し方・電話対応

- *感じの良い話し方のコツ
- *敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語）
- *クッション言葉…申し訳ありませんが、恐れ入りますが
- *肯定的否定…生憎、〇〇致しかねます
- *依頼文／形…お願い出来ますでしょうか？
- *電話対応6つのルール
 - 1) 3コール以内に出る
 - 2) 最初の名乗りをしっかりと
 - 3) 相手を待たせない
 - 4) いきなり本題に入らない
 - 5) 連絡事項は正確に
 - 6) 終わりの挨拶は丁寧に
- *ロールプレイング（受電、掛電の練習）
- *プロ意識を持つ（来院する患者にとってスタッフは新人・ベテラン関係無く全員がプロである）。

6. クレーム対応

- *クレームの発生源を理解する。
- *クレーム対応手順
 - 1) お詫びする（不快な思いをさせたことに対して）
 - 2) 相手の話を聴く（傾聴）
 - 3) 相手の気持ちを理解する（心情理解）



- 4) 事実確認
- 5) 解決案・代替案の提示
- 6) お詫びと感謝

*期待値と現実のギャップが大きいと起こる。

*不満・不安・不審・不便・不経済の解消に努める。

7. まとめ／ふりかえり

*何を学べたか？

*今後どう生かしますか？

以上が途中1時間のランチタイムを挟んでの4時間に及ぶセミナーの概要です。

受講生達にとってはせっかくの日曜日がほぼ1日拘束されてしまう訳ですから、あまり前向ではない気持ちで会場入りしたスタッフもいたかもしれません。初めは講師側からの一方通行に感じられていた会場の雰囲気でしたが、時間が経つにつ

れ小原先生の巧みな話術に次第に引き込まれて行き、受講生達の心も姿勢も前のめりになって行く様は圧巻でした。或いは話術のみならず小原先生の持つ高いプロ意識に共感を感じていたのかもしれない。

それから講師とそれをサポートする3人のアシスタントの先生方とのチームワークの良さにも感心しました。小原先生から言葉の指示がなくてもアイコンタクトや雰囲気によって静かに手際良く動く様子は、職種は違いますが歯科医院においても応用出来そうで非常に参考になりました。

なおセミナー終了後には、院長先生宛に受講生講師所感をお送りしています。

このセミナーは年2回開催されています。次年度の日程はまだ未定ですが、是非貴院のスタッフの皆さんにも参加していただく事をお勧めします。





平成28年度摂食嚥下研修会を終えて

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

鈴木 哉絵、三田村 佐智代、野村 美奈、
村居 幸夫、征矢 亘、森永 和男

(公社)茨城県歯科医師会・口腔センター水戸では平成24年度から、地域の障害のある者に関わる職種を対象に、食べることの基礎的な知識や応用技術の向上を図り、より熟練した支援者の育成を目指す事を目的に年6回の摂食嚥下研修会を開催してきました。今年度も、口腔センター水戸非常勤歯科医、日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座の三田村 佐智代先生を講師に迎え、“障害児・者の食べる機能を育てるために”をテーマに講義・実習・事例検討を行っていただきました。

*平成28年度 プログラム

月 日	内 容
H28 7/12	第1回講義 食べるための構造とメカニズム
8/23	第2回講義 哺乳・離乳期の発達とその障害
10/11	第3回講義 自食機能の発達とその障害
11/8	第4回講義 摂食嚥下機能訓練の実際① 間接訓練
11/29	第5回講義 摂食嚥下機能訓練の実際② 直接訓練
12/11	第6回講義 摂食嚥下機能障害への対応 ー各障害における 摂食指導の実際ー ディスカッション 摂食嚥下機能評価の方法 事例検討 (参加型)

*平成28年度 受講登録者

職 種	人数
教諭・特別支援学校教諭	17
歯科衛生士	14
言語聴覚士	7
生活支援員	7
歯科医師	6
作業療法士	4
管理栄養士	4
児童・発達指導員	4
介護職員 (ヘルパー)	3
看護師	3
支援・指導員	3
准看護師	2
保健師	2
栄養士	2
患者家族	2
薬剤師	1
栄養教諭	1
介護福祉士	1
保育士	1
その他	1
合計	85

講義内容は、摂食嚥下に関わる構造や機能と摂食嚥下の過程から始まり、哺乳・離乳期・自食機能の発達過程とその障害、機能訓練の実際（間接訓練・直接訓練）、障害別の対応について講義していただきました。

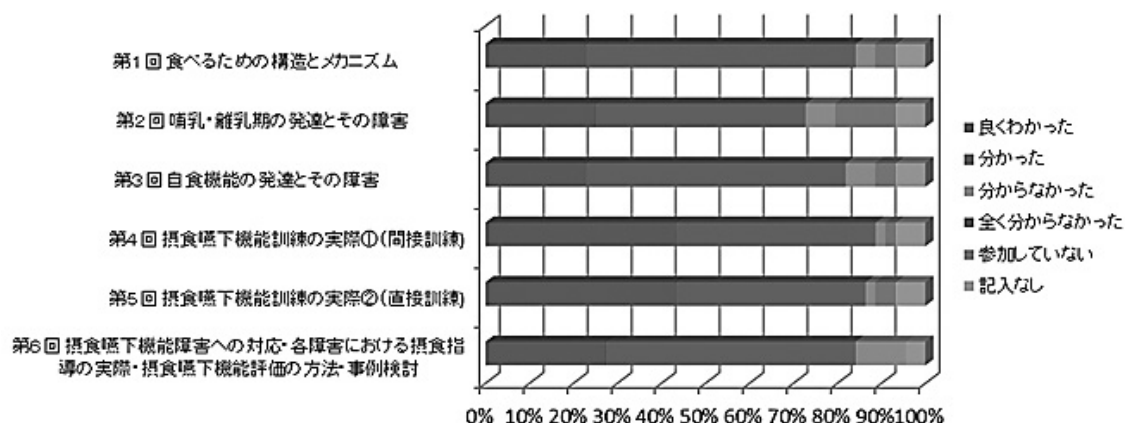
実習では、三田村先生のご指導の下、グループに分かれて当センタースタッフがデモンストレーションを行い、その後受講者の方に相互で摂食嚥下機能訓練を体験していただきました。間接訓練では、嚥下反射促通法（ガムラビング・味覚刺激）・筋刺激訓練（舌訓練・口唇訓練・頬訓練）などを行いました。直接訓練では、乳児嚥下や過開口での嚥下体験や顎介助を介しての嚥下訓練、口唇の役割を理解してからの口唇の介助方法や前歯咬断訓練、咀嚼訓練、水とトロミを使っの水分摂取の練習を行いました。第6回では、より実践的な支援・対応についてという事で、摂食機能評価の方法と参加型の事例検討を行いました。事例検討では5グループに別れ、それぞれ違った症例のエピソード内容とVTRを見ていただき、問題点の抽出を行い改善点などの意見を出し合いディスカッションした内容をまとめ発表していただきました。

*アンケート集計結果

最終回を受講された方にアンケートをお願いし、回収集計した結果を一部抜粋したものをまとめさせていただきました。最終回を受講者は49名であり、アンケート提出者は44名で回収率は89.8%でした。

○研修会についての受講者の評価について

*研修内容の理解度について



講師の三田村佐智代先生

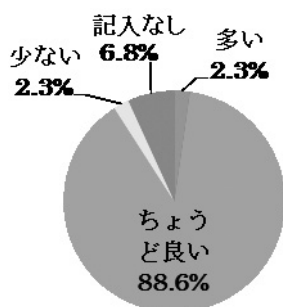


スタッフによるデモンストレーション



相互実習の様子

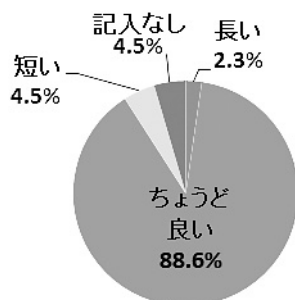
* 研修会（全6回）の回数について



少ないと答えた中で希望の回数は、10回が1名でした。

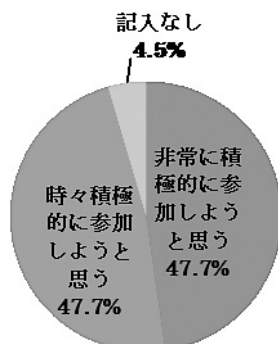
* 1回の講義および実習時間（90分）について

研修会は講義や実習時間と質疑応答を含め90分で行いました。また、6回目は午前と午後120分ずつ行いました。



長いと答えた中で希望の時間は、60分が1名でした。

* 今後の摂食嚥下研修会への参加について



* 具体的に希望する研修会の内容について

- ・今回と同じような研修会（6名）

機能訓練などの実技の行える研修会

事例（VTR）における具体的な支援や対応
他職種の方と交流できる研修会

講義・実習が行える研修会

- ・障害者（成人、高齢者）の摂食指導（3名）
- ・重症の方の摂食指導について（3名）
- ・実際の症例を持ち寄っての検討
- ・口腔ケアについての講習会

* 受講者の感想・意見

- ・先生はじめスタッフの皆様、ありがとうございました。（10名）
- ・昨年から引き続き受講して勉強になりました。（3名）
- ・回をかさねる事で理解できる部分も増えてきました。（2名）
- ・DVDなどで具体的事例を挙げて頂き大変勉強になりました。（2名）
- ・知らなかった事をたくさん知る事ができ興味をもつきっかけになりました。（2名）
- ・リハビリは講習会を受けただけでも行ってよいものかどうか迷ってしまう時がある。
- ・講義だけでなく実習があり、実際に経験でき、とても有意義でした。事例検討も参考になりました。
- ・基礎知識を身に付けてからまた受講してみたいと思いました。
- ・とてもわかりやすい研修会でした。
- ・様々な職種の方とお話できて良かったです。
- ・1つの講義内容が大変詰め込まれていたのもう少しずつ時間が長いと嬉しいです。
- ・医療的な話や評価をすることが少し難しいです。
- ・生徒がセンターで口腔マッサージをするようにと言われ学校の先生がそのマッサージを保護者に聞いて分からなかったりするので、このような機会に直接お聞きすることができありがたいです。

・事業所に訪問しての指導もありますか？

できたら助かります。一緒に受けることで事業所内での統一ができたと思っています。

おわりに

今回で5年目になる講習会でしたが、地域で障害のある方に関わっているたくさんの職種の方々の参加がありました。

私も口腔センター水戸での摂食嚥下外来に携わらせていただいております、食べる事で困っている、食べさせ方で困っているという、食事について困っているたくさんの患者さんに出会いました。また、日常生活をして行く中で食べるという事は、毎日の事であるため、食べる事で困っているということは、毎日困っている方がたくさんいるという事を知り、その事がきっかけで、私も何か衛生士の立場からアドバイスできればと思い勉強を始めました。

以前は、発達期の理解や機能メカニズムという面で難しく考えていたこともありました。今は、口腔ケアをしている時に患者さんの唾液の飲み込みの状態、うがいをする時のコップからのすすり方など毎日の何気ない行動を正しい方法に変えるアドバイスができれば、口腔衛生面においても口腔機能の発達や維持にもつながるのではと考え始めました。そのことにより、摂食嚥下へのアドバイスも身近なものに感じ始めました。

毎年わたしもこの講習会に参加させていただいており、6回目のディスカッションでは、他職種



グループディスカッションの様子



症例発表の様子

の方々の考えや取組みについて聞くことができ、三田村先生の講義からはもちろん、講習会を通して勉強させていただく事がたくさんありました。食事をする事に困っている方が口から安全に上手に食べるために、どうしたらよいかと思い講習会に参加され、興味をもって下さる方が増える事や、アンケートの結果から、また参加したいと思うてくださる方々と一緒に学べる事が嬉しく思いました。私も、これからも勉強を続け、より良いアドバイスができる歯科衛生士を目指していきたいと思いました。

写真でみる歯科で働く栄養士

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター土浦 管理栄養士 手塚 文栄

このところ、歯周病と糖尿病等の全身疾患、口腔ケアと肺炎や周術期、高齢化社会と摂食嚥下障害、口の機能低下とフレイルなどがクローズアップされるようになった。歯科と栄養の関係が近いものであるという理解が、両者の間で徐々に進んでいる。この流れの中、平成22年4月に日本歯科医師会と日本栄養士会が共同で「健康づくりのための食育推進共同宣言」を行った。これは、日本歯科医師会と日本栄養士会とが連携し、生涯を通じた「食べること」の専門職として積極的に支援を行っていかうという会長同士の合意をもとに行われた画期的な出来事であった。その後、小児だけでなく、成人の特定保健指導、高齢期の摂食嚥下障害など、共通する分野の講演会が開かれていて、歯科と栄養の専門職が一堂に会する機会も増えてようになってきている。

さて、私は20年ほど前に歯科で働く縁をいただき、摂食嚥下障害の分野で歯科医師や歯科衛生士と一緒に働いてきた。口の機能と形態が栄養に及ぼす影響を知るほどに仲間の栄養士にもその面白さを伝えたくて、歯科関係の管理栄養士と一緒に、日本栄養改善学会の自由研究集会の場で発表してきた。この発表グループは、通称「ワラジーの会」といい、現在30名程度の歯科クリニック勤務栄養士と歯科に興味のある大学関係者、そして栄養と

歯科の協働を願っている歯科衛生士2名をアドバイザーに活動している。

私が把握している範囲では、歯科医院や歯科病院、歯科大学で管理栄養士を雇用しているのは大きく分けて5つの分野がある。①齲歯や歯周病、口腔がん等の歯科治療関連の食事相談、②摂食嚥下障害関連の食事相談や調理法示範、訪問活動③健常児の離乳食・食育相談や講習会、④歯学部学生への栄養学教育、⑤歯科でも行えるようになった特定保健検診での食事相談またはがんを含む生活習慣病関連の食事相談、となっている。歯科大学と一緒に調査を開始している。

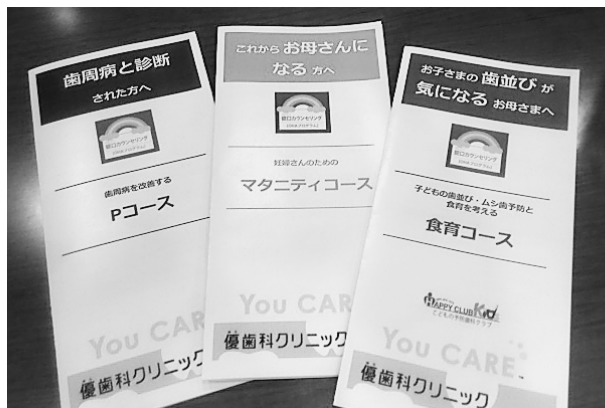
歯科と栄養が一緒に関わることで、患者さんのQOLが向上すること、診療報酬の面で管理栄養士が歯科に勤務しやすくなることに、微力ながら今後も努力したい。

なお、管理栄養士は国家資格で4年の専門教育が必要。栄養士は専門教育2年で取得可能な都道府県資格。傷病者への食事指導や臨地訓練指導は管理栄養士のみ行うことができる。就職先は病院、給食、教育、マスコミ、料理など。大学院進学や留学生は珍しくなく、ワラジーの会にも数名いる。この文中では読みやすさから、どちらも栄養士と表現しているが、多くは管理栄養士である。

最後に栄養士の活動を写真で掲げる。

① 齲歯や歯周病、口腔がん等の歯科治療関連の食事相談

歯科助手として歯科治療への理解を深め、受付や治療計画のカウンセリングを行い、食事相談、パンフレット作成などを行っている。病院あるいは特別養護老人ホームから歯科を知りたいと転職した栄養士もいる。歯科医師と結婚して歯科疾患と食事について執筆活動をしている。



② 摂食嚥下障害関連の食事相談や調理法示範、訪問活動

摂食嚥下機能関わっている栄養士は増えている。高齢者、障害児・者に関わり、機能に合わせた家庭での調理相談や示範、栄養評価などを行っている。県により対応は様々だが、医師の指示書で歯科医院所属の管理栄養士が居宅療養管理指導の訪問し、所属歯科医院からレセプトを上げている。写真の道具は訪問時の7つ道具である。歯科材料の会社のショールームで、口の機能に応じたメニューの開発や料理講習会を開いている栄養士もいる。



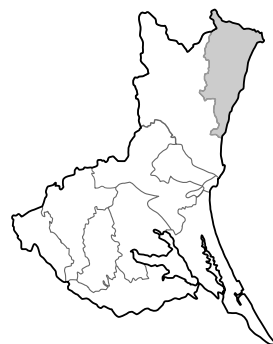
③ 健常児の離乳食・食育相談や講習会

子育て世代の歯科医師が栄養士や衛生士と子育てカフェを開く例が増えている。



④⑤ 歯科関係者への食事指導





日立歯科医師会90周年記念式典

式典部会長 薄井 克巳

平成29年1月21日（土）午後5時半よりホテル天地閣にて、一般社団法人日立歯科医師会創立90周年記念式典・祝賀会が来賓の方15名含む総勢87名の参加をいただき、盛大に開催されました。

式典では、冒頭間宮高弘会長より、最近の10年、歯科医師会が注力してきた歯科保健活動、歯科啓発活動への取り組みを紹介し、次の10年、来る100周年を迎えるにあたり、さらに地域の方々の健康を支え、生きる力を育む一助になるような活動をしていくという決意を、力強く語っていただきました。

続きまして、来賓の大畠章宏衆議院議員、石川昭政衆議院議員、小川春樹日立市長、森永和男茨城県歯科医師会会長よりご祝辞をいただき、それぞれの立場より、日立歯科医師会の地域への貢献を紹介していただき、ますますの活躍を期待するとの激励の言葉をいただきました。

その後、日立歯科医師会の運営に長年貢献していただいた会員の功労者表彰に移り、間宮会長より、感謝状と記念品の贈呈をし、受賞者を代表し、荒蒔勝邦前会長より謝辞をいただきました。

来賓の方々に歯科医師会の活動を知っていただくため、また会員の先生方には、改めて歯科医師会を振り返っていただく機会とするため、3人の演者により、歯科医師会の誕生から、最近10年間の活動報告、特に力を入れてきた地域連携事業と、健康増進事業についてパワーポイントを使っ



報告を行い、90分の式典は厳粛に進行し幕を閉じました。

式典に引き続き、会場を移動して祝賀会を開催しました。入江ふじこ日立保健所長から乾杯のご発声をいただき、同時に会場に控えていた、「クローバー・サクソフォン・クワルテット」のファンファーレで、華やかに幕をあけました。来賓の方々と、会員の先生方は和やかに盃を重ね、中盤

でサクソフォン・クワルテットのつややかな音色を堪能し、アンコールには2回ほど答えていただきました。

最後に歯科医師会の活動をまとめたエンドロールを、列席していただいた皆様にご覧いただき、これまでの活動を振り返りつつ、これからの歯科医師会活動に、そして来る100周年に思いを馳せながら、90周年の祝宴は閉会とさせていただきます。





〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
TEL・FAX 029-253-5807
http://www.ibaraki-dh.net/
E-mail jimmu@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 県西支部 佐竹 幸栄

もう、歯科衛生士となって42年、そろそろ仕事から引退しようかと思いつつ、毎日を過ごしている。

そして、茨城歯科専門学校で講師をして、ぼちぼち20年の時が流れる。

いつの間にか、研修会の講師の先生方も、年下の方が多くなってきた。

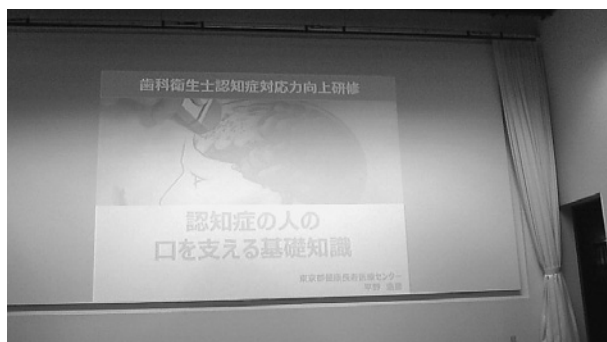
そんな中、1月の講師、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長平野浩彦先生のお話しは、何度聴いても心地良い。たぶん、普段の考え方が影響しているのかも知れない。

でも、「歯科衛生士の認知症対応力向上研修」というのは、初めて聞いたが、何の事はない、診療所でも日々気を付けて欲しいということらしい。

マスクにゴーグルと白衣、確かに普通の状態ではないが、毎日がその状態でいるうちに、それが当たり前になり、何とも思わなくなっている。

その辺りは、学生の方がまだ一般の人に近いなあと思うが、学生には、今度は一般人と違うと言うのもわかってもらわなくてはならない。

感染症予防との狭間だなあと、考えると難しい。いつも、このあたりが問題となってくる。



感染予防を考えると、マスクとゴーグルの必要もわかるが、確かにロボットのようになってくる。

マスクを取っておしゃべりをして、マスクとゴーグルをしてケアをするということか？

さて、茨城県歯科衛生士会の発展のために、もう少し頑張ろうかな。



おもしろい生き物を飼う

(社)茨城西南歯科医師会 鈴木 哲之

私は5年ほど前に熱帯魚を飼っていたのですが、ショップできれいなサンゴ（そうです、あの海のサンゴです）が売られているのを見かけて興味ที่わき、飼い始めました。もちろん海水魚も一緒に飼っているうちに、いろいろな生き物が売られていることを知りました。今まで飼ったものは、ディズニーアニメで有名なカクレマノミやハコフグ、エビ、ヒトデ、ヤドカリ、カニ、イソギンチャク、ナマコ、最近ではオウムガイです。オウムガイは飼うのがむづかしく、2年ほどで死んでしまいました。長生きさせるには、大きな水槽（少なくとも120cm以上）で3、4匹と少なめで飼う、20度以下の水温を維持する等がポイントではないかと思いました。自然界では10年以上生きようです。

そして1年程前から飼い始めたのがカメレオンです。カメレオンは以前はペットとして飼う生き物ではないといわれていました。3ヶ月飼えれば長生きといわれていたほどです。

飼育が困難な理由は、犬や猫、鳥や熱帯魚などのように人工餌を食べないことです。

昆虫を餌とするので、主に生きたコオロギなどを用意しなければなりません。コオロギは爬虫類ショップで入手できます。私は季節によりバッタやカマキリ、ゴキブリなどをつかまえて食べさせています。とくにゴキブリはカメレオンの大好物です。



カメレオンはストレスに弱く、人にじっと見つめられたり、近くに他の動物がいたり（同じカメレオン同士でも）するとストレスとなって弱ってしまいます。自然の中では自分より大きい動物がすべて捕食者だからです。体色を木や葉っぱなどと同じ色に変えて隠れることができるように進化したのはこのためでしょう。どんな背景の色にも変化すると思われているのは実は誤解で、赤系の種もいますが、ほとんどは緑色や茶色が多いです。

現在は愛好家の努力と試行錯誤により、寿命の長い種類では6～7年以上生きようです。

爬虫類なんて気持ち悪いといわれる方が多いと思いますが、実は私もそうでした。飼おうと思ったきっかけは、行きつけの熱帯魚ショップの一角で売られているのをいつも見かけていたからです。トカゲのような姿をしていますが、チョロチョロ動かず、じっとして、目だけキョロキョロ左右別々に動かし、移動は超スロー、時々カクカクとコマ送りのように体を前後させながら移動する。虫を見つけるとロボットのようにウィーンと口を開き、目にも止まらぬ速さでペロを伸ばし（発射といってもいい）一瞬で食べてしまいます。文章にすると気持ち悪いかもしれませんが、とてもユニークで愛嬌がある生き物です。

カメレオンは、とにかく外敵に見つからないように、葉っぱなどの影に隠れてじっとして暮らしているのですが、意外なことに飼い主が危害を加えない、おいしい虫をくれる人ということを認識すると、次第に警戒心を解き、人を見るとカメレオンのほうから近寄ってきて、餌をねだるようになります。馴れるととてもかわいい生き物です。

本当に面白い生態のため、ハマってしまい、現在はタンザニアのジャクソンカメレオン、マダガスカルのパンサーカメレオン、アラビア半島のエボシカメレオン（幼体）の3匹を飼ようになってしまいました。

次は西南地区の斉藤英雄先生にバトンタッチさせていただきます。





先日TVのゴルフ中継を観ていた時の話です。ゴルフよりもプレイヤーがしている腕時計が気になります。白い腕時計でとても気になる。早速スマホで検索！何と答えがありました！数千万もする時計でした。家1件分にも相当する金額の腕時計をしてフルスイングして大丈夫なのか？と余計な心配をしてしまいました。検索結果に驚くと同時に、答えがインターネット上にあるもことにも驚かされました。ちなみにプレイヤーはB・ワトソン。時計はリシャール・ミルというスイスの超高級ブランドです。ネットで中古品が約1000万で購入できます。

インターネットとスマートフォンの普及によって、興味さえあれば何でも検索できます。TVに映る女優さんの年齢？その場で検索できます。「アナタが今考えている疑問の答えは、すべてネット上に存在する」と言っても過言ではありません。また、数式をデジカメ撮影すると解法手順を教えてくれる数学解法ソフトも存在します。翻訳ソフトも優れものがあり、日本語で音声入力すると、たちどころに変換してスマートフォンが英語で話してくれます。英会話を勉強する必要がなくなる日がくるかもしれません。今時の学生さんは、どんなふうに勉強しているのでしょうか？

先日、初診の患者さんのアンケート欄に「舌下免疫療法」と「ロンバーク病」の記載がありました！？知ったかぶりをして、慌ててスマートフォンで検索。フムフムとうなずきながらの診察でした。

(和)

鬼怒川の源流部にあたる奥鬼怒温泉には、加仁湯、八丁の湯、そして手白澤温泉など泉質の異なる秘湯が点在します。豊かなブナの原生林に囲まれたこの温泉郷に、電気、電話が引かれたのが1986年。それまではランプの宿でした。1988年に奥鬼怒スーパー林道が開通するまでは徒歩でしか訪れることのできない秘湯でした。現在も一般車両は乗り入れできないので、宿泊者送迎を利用するか、歩くことになります。

年末に雪の山を歩いて、日帰り入浴可能な加仁湯、八丁の湯を楽しんで、宿泊者しか入浴できない手白澤温泉でお一人さま忘年会をしてきました。時期が時期だけに、どこの温泉も貸切状態でした。

手白澤温泉は山の中と思えない立派な建物でビックリ。温泉は源泉かけ流しで蛇口にハンドルがありません。流しっぱなしです。内湯であったまってから露天風呂へ。薄緑色で微かに硫黄のにおいが漂います。夕食は食前酒に鬼怒の伏流水で仕込んだ日本酒“四季桜”、イワナの塩焼きにピッタリ。次のステーキに合わせるワインの品ぞろえも豊富です。ひとりなので、ハーフボトルの赤をい



手白澤温泉 露天風呂



洗い場には蛇口のみで
ハンドルがありません
かけ流し！

ただきました。暖炉にくべられるマキのにおい、はぜる音、贅沢な時間です。食後の露天風呂では満天の星空を楽しむこともできました。

人里離れた秘湯で、喧騒を忘れのんびりと過ごしたい先生にオススメの温泉です。

(樹)

東京国際フォーラムホールAに、ギタリストのジェフ・ベックのコンサートを観に行って来ました。御年72歳、来日通算16回目で、個人としては4年連続、ジャパントツアーとしては2014年以来3年ぶりで、今年でソロデビュー50周年を迎えます。今年もコンサートの特徴は、いつもはインストルメンタルのみなのですが、男女のボーカルが1人ずつ参加している事と、女性のサイドギタリストが入っている事です。今まではジェフ一人で頑張

っている感じでしたが、今年は、昨年のエリック・クラプトンのコンサートの時と同じ様に、バンドの一員としてギターを楽しんでいる様な所がありました。やはりボーカルが入った方がインストルメンタルより音楽の幅が広がるような感じがしますし、サイドギターが入ることでインストルメンタルにも厚みが増した様な気がします。全部で21曲、ボーカルが入った曲が多かったですが、「フリーウェイジャム」、「ベックスボレロ」、「蒼き風」、「悲しみの恋人達」、「ア・ディ・イン・ザ・ライフ」等、定番のインストルメンタルもしっかり押さえていて、見ごたえのあるコンサートでした。今回はボーカルが入ったのが影響しているのか、最後は珍しくスタンディングオベーションで大団円を迎えました。また来日してもらいたいです。

(勝)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

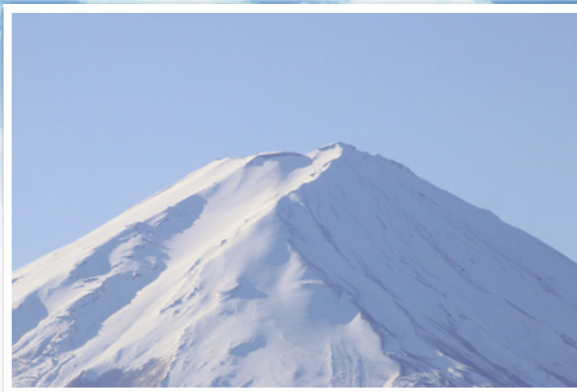
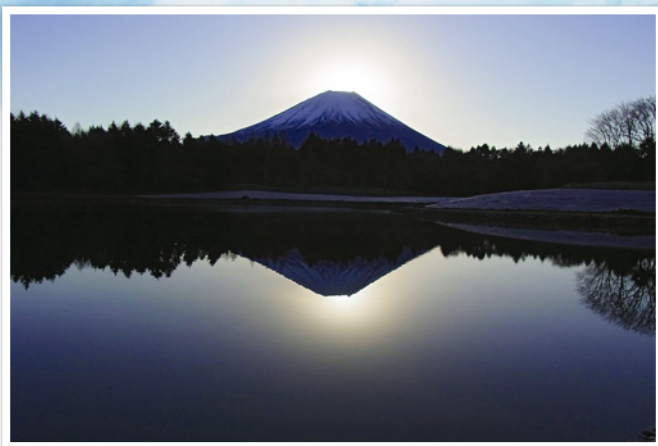
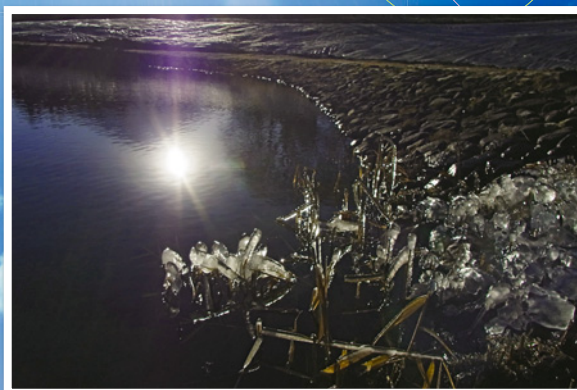
詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail id-05-koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社)茨城西南歯科医師会 小野 道範



会 員 数

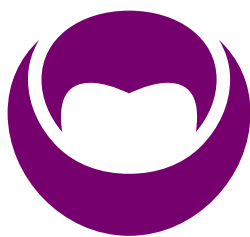
平成29年1月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138 -1
水 戸	156 -1
東西茨城	73
鹿 行	105
土浦石岡	172
つ く ば	122
県 南	177 +1
県 西	153 -1
西 南	105 -1
準 会 員	1
計	1,325 -3

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,152名
2種会員 40名
終身会員 132名
準会員 1名
合計 1,325名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 29 年 2 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。